

第48期末（2025年4月25日）

基準価額	9,264円
純資産総額	17億円
第43期～第48期 (2024年10月26日～2025年4月25日)	
騰落率	△12.2%
分配金合計	200円

(注) 謄落率は分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

ニッセイ気候変動関連 グローバル株式ファンド (予想分配金提示型)

【愛称】 フォー・ザ・フューチャー

追加型投信／内外／株式

運用報告書（全体版）

作成対象期間：2024年10月26日～2025年4月25日

第43期（決算日2024年11月25日） 第46期（決算日2025年2月25日）
第44期（決算日2024年12月25日） 第47期（決算日2025年3月25日）
第45期（決算日2025年1月27日） 第48期（決算日2025年4月25日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ気候変動関連グローバル株式ファンド（予想分配金提示型）」は、このたび第48期の決算を行いました。

当ファンドは、「DWS・インベスト・E S G・クライメート・テックF C（円建て）クラス」への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、気候変動に関する事業を展開する企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター 0120-762-506

（9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイアセットマネジメント株式会社における「ESGファンド」について

ニッセイアセットマネジメント株式会社（以下「弊社」といいます）は、ファンドの設定目的や運用方針等をもとに、弊社が設定・運用する公募投資信託において「ESGファンド」と位置付けるファンドを分類しています。

当ファンドは、「ESGファンド」に該当いたします。

以下に弊社における「ESGファンド」の考え方をご説明いたします。

■ ESG運用とは

まず、ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）、Governance（ガバナンス）の頭文字をとった言葉で、ESG運用とはこれらの要素を投資判断に加味する運用のことをいいます。ESG運用については、持続可能な社会および国際金融システムの実現をめざすために、2006年に国連が中心となり提唱した責任投資原則（PRI：Principles for Responsible Investment）をきっかけとして広まっている考え方です。

■弊社の「ESGファンド」の考え方について

弊社ではESG要素を積極的に活用し、ポートフォリオを構築するファンドを「ESGファンド」としています。「アクティブランク」において、ESG要素を積極的に活用する運用とは、相対的にESG評価の高い銘柄を選別したり、ESGの観点でインパクト創出可能な銘柄を選別したりする運用のことをいいます^{※1}。運用ファンド全体の中でESGファンド以外の区分としては、ESG要素を体系的に運用プロセスに組み込んでいるファンド、ネガティブスクリーニング^{※2}などでESG要素を考慮しているファンド、およびESG要素を考慮していないファンドがあります。

なお、ESGファンドの中で、特にSDGs^{※3}のゴール達成という観点においても優れた投資銘柄でポートフォリオを構築するファンドを「SDGsファンド」、また環境や社会へのインパクト創出も企図し、その効果をレポートしているファンドを「インパクトファンド」としています。

※1 「インデックスファンド」においては、ESG要素を積極的に活用して構成されると弊社が考える指標に連動するファンドをESGファンドとしています。

※2 ESGの観点から特定の銘柄等を投資対象から除外することをいいます。

※3 Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）のことです。2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標です。

< ESGファンドの考え方（イメージ）>

運用ファンド全体

ネガティブスクリーニングなどでESG要素を考慮しているファンド

ESG要素を体系的に運用プロセスに組み込んでいるファンド

ESGファンド

ESG要素を積極的に活用し、
ポートフォリオを構築するファンド
(SDGs・インパクトファンドを含む)

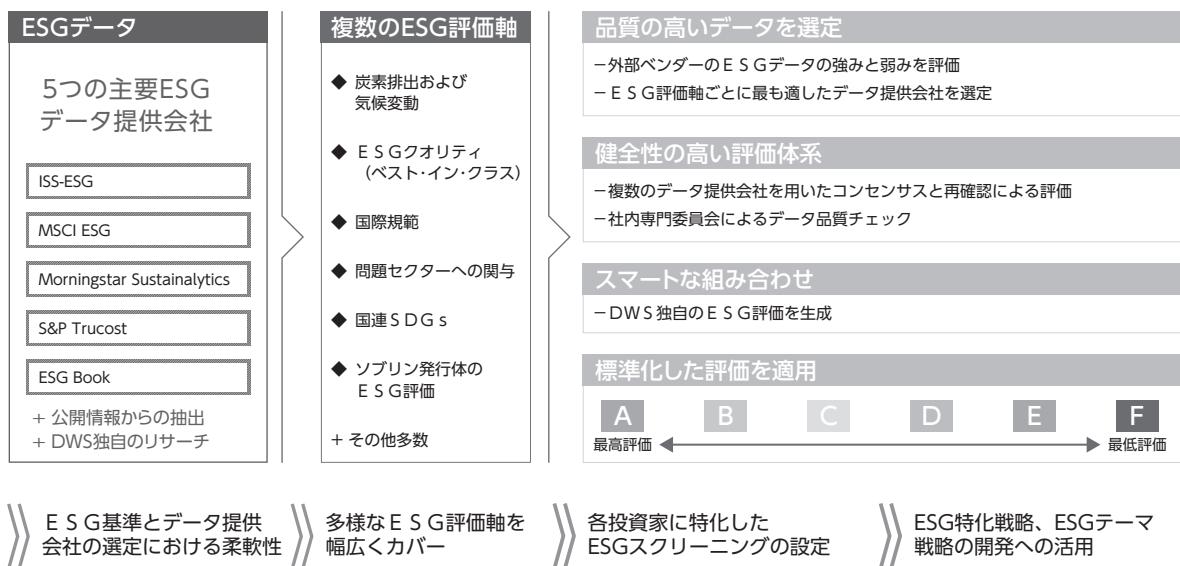
ESG要素を考慮していないファンド

■当ファンドの運用における ESGに対する考え方について

当ファンドの主要投資対象ファンドを運用するDWSグループのESG評価およびスクリーニングに対する考え方は以下の通りであり、弊社のESGファンドの考え方と合致すると考えています。

同グループでは、下図のように5つの主要ESGデータ提供会社のESGに関するスコアや基礎データを同グループのソフトウェアシステム（DWS ESGエンジン）に取り込み、各シグナルの重み付けや結合を行なながら、複数のESG評価軸に適用する独自の評価を導き出します。各主要ESGデータ提供会社のデータを使用して組み合わせることで、信頼性、客観性を高めつつ、独自性のあるESG評価を行うことができると考えています。

〈DWS ESGエンジン〉



当ファンドの主要投資対象ファンドの運用（以下「当運用」といいます）に関する上記エンジンを活用したESG評価としては、次頁の表の通り主に5つの分析対象、①「DWS気候変動／移行リスク評価」、②「DWS ESGクオリティ評価」、③「国際規範への対応」、④「問題のある兵器」、⑤「問題のあるセクター」を用いており、①～⑤の評価については、評価可能な発行体（評価対象かつ評価用データあり）に対して、それぞれ評価が高い順にAからFまでの等級を付与しています。

当運用においては、原則として、次頁の表の背景色が濃いグレーに該当する発行体は投資対象から除外します。当運用では、気候変動に関連する事業を中心に展開する銘柄を投資対象とし、このような包括的なESGスクリーニングを加えることで、ESGの観点で相対的に優良な発行体への投資を行っています。

<当ファンドの主要投資対象ファンドの運用に関するDWSのESG関連評価>

分析対象	① DWS気候変動／ 移行リスク評価	② DWS ESGクオリティ評価	③ 国際規範への対応	④ 問題のある兵器	⑤ 問題のあるセクター	
評価項目	気候変動および 環境変化に関する 問題点を評価	複数のデータ提供会社の コンセンサスによる ESG総合評価 (ベスト・イン・クラス)	国連グローバル・ コンパクト等の 国際規範への 対応を評価	問題のある兵器の 製造への関連度合い に応じて評価	問題のあるセクターからの 売上比率に基づき評価	
組入可	A 真のリーダー (≥ 87.5点)	A 真の ESGリーダー (≥87.5点)	A	問題ない ことを確認	<ul style="list-style-type: none"> ●各セクターの売上比率が基準値内 ・10%未満 石炭発電、原油採掘(伝統的手法)、オイルサンド・オイルシェールの採掘・探索、石炭採掘と原油採掘の合計、天然ガス・石炭を除く化石燃料発電 	
	B ソリューション提供 (75～87.5点)	B ESGリーダー (75～87.5点)	B	軽度の問題		
	C 低リスク (50～75点)	C 中上位 (50～75点)	C			
	D 中リスク (25～50点)	D 中下位 (25～50点)	D	一定の問題	<ul style="list-style-type: none"> ●次の兵器の製造会社、部品製造会社^{※1}に該当しない^{※2} 核兵器、クラスター爆弾、対人地雷、劣化ウラン兵器、化学兵器、バイオ兵器、白リンを含む焼夷弾など 	
	E 高リスク (12.5～25点)	E 下位 (12.5～25点)	E		<ul style="list-style-type: none"> ・5%未満 防衛装備、民間用武器、パーム油、タバコ、アダルト、ギャンブル、原子力発電／ウラン採掘・燃料化 ・1%未満 石炭採掘 ・0%(なし) 石炭拡張計画、原油・天然ガス採掘(非伝統的手法) 	
除外	F 極めて高いリスク (0～12.5点)	F 最下位 (0～12.5点)	F ^{※3}	重大な問題／ グローバル・ コンパクトの 非遵守	上記兵器の製造会社、 部品製造会社に該当 ^{※2}	各セクターの売上比率が 基準値を超過

・上記の表はDWS ESGエンジンによるさまざまな評価のうち、当ファンドの主要投資対象ファンドの運用に関するESG関連評価の一覧です。

※1 問題のある兵器のみに使用される重要部品。

※2 発行体の株主資本構成を考慮する場合があります。

※3 データ不足による未評価を含む。

■ ESGを主要な要素として投資する目標比率について

当ファンドの主要投資対象である「DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC（円建て）クラス」において、ESGを主要な要素として投資する銘柄の投資額（時価ベース）の目標比率は、同クラスの純資産総額に対し60%超とします。

■ DWSグループにおけるスチュワードシップ方針について

DWSグループでは、アクティブ・オーナーシップ^{**}を投資先企業のガバナンス、行動方針、活動の改善、そして長期的な財務パフォーマンスの向上を後押しする重要な手段と考えています。具体的には、株主としての権利や立場を利用して投資先企業の活動や行動に影響を与えることを目的として、投資先企業等との対話（エンゲージメント）、議決権行使、株主総会への出席などを通じて、投資先企業との直接的な関わり合いの機会を積極的に設けます。

※投資先企業の活動や行動に影響を与えるため、株主としての権利や立場を利用することをいいます。

■スチュワードシップ方針に沿って実施した行動の概要

DWSグループのスチュワードシップ方針に沿って実施した行動の概要については、ホームページに記載しています。

- DWS Stewardship Report（リンク先の“Corporate Governance Services”セクションより各年度のレポートをご覧いただけます。）

<https://www.dws.com/en-jp/solutions/sustainability/corporate-governance/>

- 当ファンドの議決権行使（リンク先の“Filters”の“Fund”から、「DWS Invest ESG Climate Tech」をご選択ください。）

<https://funds.dws.com/en-lu/about-us/corporate-governance/>

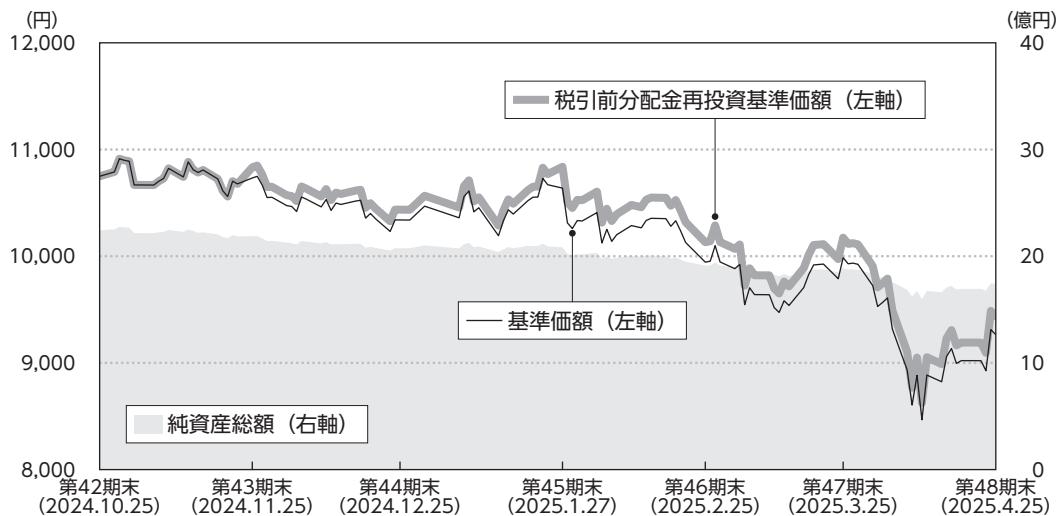
以上

ESGファンドの考え方等につきましては、今後のESGを取り巻く情勢等に応じ見直す場合があります。

運用経過

2024年10月26日～2025年4月25日

基準価額等の推移



第43期末	10,749円	既払分配金	200円
第48期末	9,264円	騰落率（分配金再投資ベース）	△12.2%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指標化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

＜上昇要因＞

- 3月中旬の米連邦公開市場委員会（FOMC）において、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長が利下げに消極的な姿勢に傾かなかったとの見方などから株価が上昇したこと
- 4月中旬から作成期末にかけて、トランプ米大統領が一部の相互関税を一時停止し、世界経済の後退懸念がやわらいだことなどから株価が上昇したこと

＜下落要因＞

- 2月下旬から3月上旬にかけて、トランプ米大統領の関税政策を巡る不透明感や米景気減速懸念などにより株価が下落したこと
- 4月上旬のトランプ米政権による貿易相手国への想定以上に厳しい相互関税発表をきっかけに、世界経済の後退懸念が高まったことなどから株価が下落したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第43期～第48期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	60円	0.589%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,157円です。
(投信会社)	(19)	(0.192)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(39)	(0.384)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(1)	(0.013)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
合計	60	0.593	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

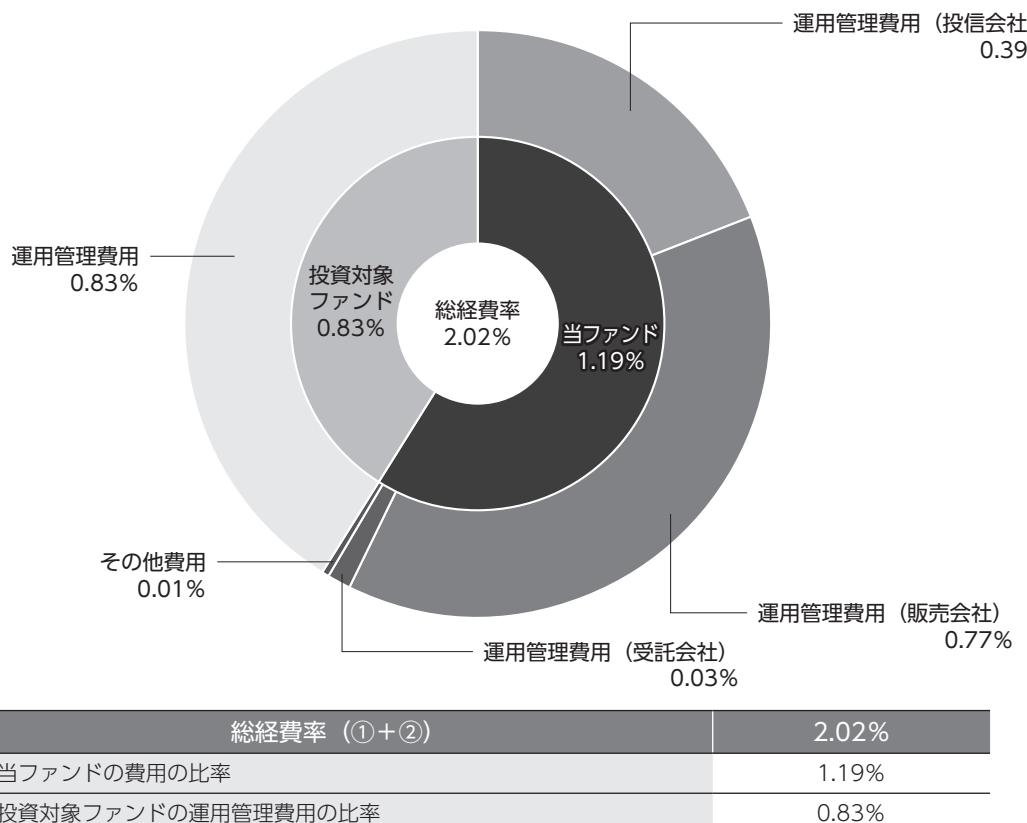
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

(参考情報)

■総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）**は**2.02%**です。



(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注8) 投資対象ファンドの運用管理費用には運用管理費用以外の費用も含まれます。

株式市況



(注) FactSetのデータを使用しています。

株式市場（MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円ベース））は当作成期を通じて見ると下落しました。

当作成期初から2月中旬にかけて株式市場はレンジ圏内で推移しましたが、その後、2月下旬から3月上旬にかけてはトランプ米大統領の関税政策を巡る不透明感や米景気減速懸念などを背景に下落しました。3月中旬にはFOMCにおいてパウエルFRB議長が利下げに消極的な姿勢に傾かなかったとの見方などから株価は上昇する展開となりましたが、4月上旬になるとトランプ米政権による貿易相手国への想定以上に厳しい相互関税発表をきっかけに世界経済の後退懸念が高まったことなどから、再び下落しました。その後、当作成期末にかけてはトランプ米大統領が一部の相互関税を一時停止し、世界経済の後退懸念がやわらいだことなどから株価は上昇しました。

ポートフォリオ

■当ファンド

「DWS・インベスト・E S G・クライメート・テックF C（円建て）クラス」への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、気候変動に関連する企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

■DWS・インベスト・E S G・クライメート・テックF C（円建て）クラス

*DWSインベストメントGmb Hの資料（現地における担当成期末の前月末営業日基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

組入銘柄については、気候変動に関連する事業を展開する企業のなかでも、特に優れた技術・ビジネスモデルを有し、持続的な成長が期待される企業を選別して投資を行いました。

3月末における業種配分は、組入比率の高い順に資本財・サービス（36.2%）、情報技術（21.1%）、素材（8.0%）としており、国・地域別配分は、組入比率の高い順にアメリカ（48.3%）、フランス（11.3%）、ドイツ（7.5%）としています。

また、サブテーマ別構成比率については、緩和（温室効果ガスの排出抑制等）74.4%、適応（社会・経済システムの調整等）25.6%としています。

（注1）業種配分、国・地域別配分比率は対純資産総額比、サブテーマ別構成比率は対組入株式等評価額比です。

（注2）業種はG I C S分類（セクター）によるものです。なお、G I C Sに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。以下同じです。

（注3）国・地域およびサブテーマはDWSインベストメントGmb Hの分類によるものです。

組入上位5銘柄

	銘柄	比率	サブテーマ	投資の視点（含む気候変動関連事業の取り組み）
1	シーメンス・エナジー	3.7%	緩和	ドイツを拠点に再生可能エネルギー分野における製品の設計、開発、サービスを手がける。水を電気分解して高純度の水素ガスを生成する水電解装置の分野など、同社事業に関連する市場拡大の恩恵を受け、利益率の成長が期待できる。
2	リパブリック・サービスズ	3.2%	緩和	米国の一般廃棄物処理会社。廃棄物の収集や処理、リサイクルなど、循環型経済をめざすサービスを提供。安定した需要と同社の持つ価格決定力により、利益拡大が期待できる。
3	マーシュ・アンド・マクレナン・カンパニーズ	3.2%	適応	米国の大手保険グループ。事業者向けの損害保険を提供しており、近年、増加傾向にある自然災害による事業者の損害リスクの軽減を支援する。よりニーズが増しているこれら損害保険分野の成長性などから、同社の収益拡大が見込まれる。
4	マイクロソフト	3.1%	緩和	同社が提供するクラウドコンピューティングの活用により、従来のデータセンターに比べてCO ₂ 排出量や電力消費量の90%超の削減につながる。クラウド事業は、業務効率化のニーズの高まりの恩恵を受け、利益拡大につながると考えられる。
5	比亜迪〔B Y D〕	3.0%	緩和	中国の大手電気自動車（E V）メーカー。E V用の電池からE V本体まで自社で一貫して開発・製造を行っている。世界的なE V需要の拡大と同社の技術的優位性により、利益拡大が期待できる。

（注）比率は対純資産総額比です。

ESGを主要な要素として投資する銘柄の投資額の比率（2024年12月末時点）

当ファンドでは、P3の表く当ファンドの主要投資対象ファンドの運用に関するDWSのESG関連評価における「除外」の条件に一つでも抵触する銘柄を組入不可としています。

一方、同表の「除外」の条件に抵触しない銘柄は組入可としていますが、一部の「分析対象」（③を除く①②④⑤）についてはデータ不足による未評価の銘柄が含まれることがあります。

当ファンドでは、「ESGを主要な要素として投資する銘柄」をすべての「分析対象」（①②③④⑤）において未評価項目がなく記載条件を満たす銘柄と定義しています。

2024年12月末時点における株式全体の組入比率98.5%に対して、その投資額の比率は97.3%となります。

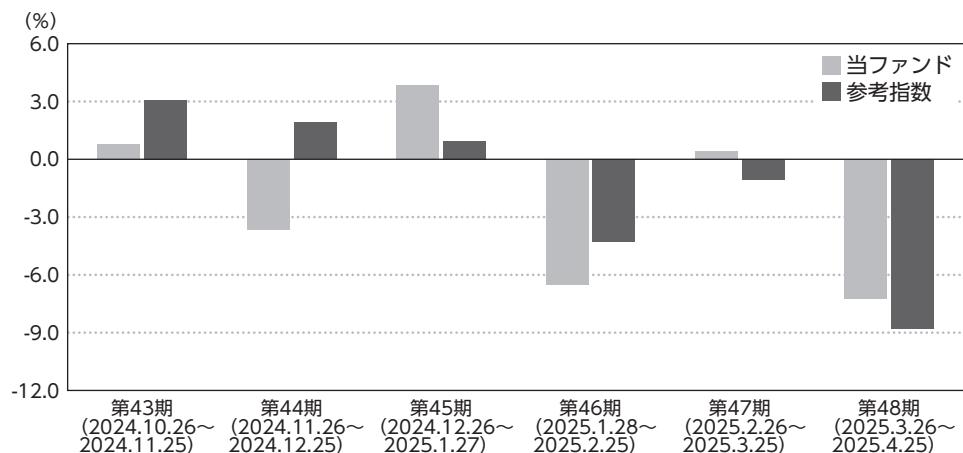
（注1）比率は純資産総額に対する株式保有比率（現金等除く）です。

（注2）投資対象銘柄の基準は当成期末におけるものであり、今後変更となる可能性があります。

ニッセイマネーストックマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

参考指標との差異



当ファンドはベンチマークを設けていません。参考指標はMSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円ベース）です。

当成期の税引前分配金再投資基準額騰落率は-12.2%となり、参考指標騰落率（-8.4%）を下回りました。

これは「DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC（円建て）クラス」の個別銘柄選択において、情報技術や資本財・サービスなどの業種がマイナスに寄与したことなどによるものです。

（注1）基準額の騰落率は分配金込みです。

（注2）参考指標の詳細につきましては、後掲の「指標について」をご参照ください。

分配金

当分成期の分配金は、各決算日の前営業日の基準価額に応じ、当運用報告書「当ファンドの概要」分配方針などから基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第43期 2024年10月26日 ～ 2024年11月25日	第44期 2024年11月26日 ～ 2024年12月25日	第45期 2024年12月26日 ～ 2025年1月27日	第46期 2025年1月28日 ～ 2025年2月25日	第47期 2025年2月26日 ～ 2025年3月25日	第48期 2025年3月26日 ～ 2025年4月25日
当期分配金（税引前）	100円	—	100円	—	—	—
対基準価額比率	0.92%	—	0.93%	—	—	—
当期の収益	0円	—	0円	—	—	—
当期の収益以外	99円	—	99円	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,012円	1,012円	912円	912円	913円	913円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

「DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC（円建て）クラス」への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、気候変動に関連する企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC（円建て）クラス

トランプ米政権による関税政策の着地点は見出しづらい情勢であり、ウクライナ情勢と併せて当面の先行き不透明感が高まっています。混乱と不確実性という組み合わせは消費者信頼感や企業景況感の悪化につながり、最終的に企業の投資や消費行動にも影響を与え、経済活動の減速に結びつくリスクがあると考えます。現状ではトランプ米政権の政策における不透明要素が大きいことから、多くの変化を想定し、長期的な目線で冷静に立ち回る必要があると考えています。金融市場のボラティリティ（価格変動性）が当面高止まることが想定されるため、株式のバリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）に留意しつつ、個々の企業業績を中心としたファンダメンタルズ（基礎的条件）に着目した物色を冷静に行う局面であると想定しています。

このような環境の中、地球環境問題の解決策となるようなクリーン・テクノロジーの分野は単なる流行の投資ではなく、今後数十年にわたって魅力的な投資機会を提供すると考えています。引き続き、当ファンドでは気候変動に関連する事業を展開する企業のなかでも特に、優れた技術・ビジネスモデルを有し、持続的な成長が期待される企業を選別し、投資を行う方針です。

■ニッセイマネーストックマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

■組入ファンド

		第48期末 2025年4月25日
DWS・インベスト・E S G・クライメート・テックF C (円建て) クラス		98.6%
ニッセイマネーストックマザーファンド		0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

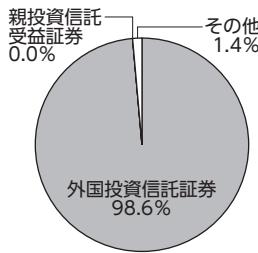
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

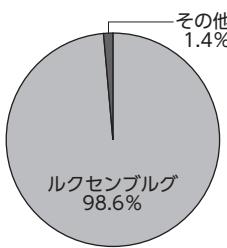
項目	第43期末 2024年11月25日	第44期末 2024年12月25日	第45期末 2025年1月27日	第46期末 2025年2月25日	第47期末 2025年3月25日	第48期末 2025年4月25日
純資産総額	2,188,016,553円	2,074,716,715円	2,083,709,757円	1,912,472,145円	1,886,994,569円	1,738,179,952円
受益権総口数	2,038,509,182口	2,006,592,809口	1,958,763,635口	1,923,150,640口	1,889,594,940口	1,876,195,896口
1万口当たり基準価額	10,733円	10,340円	10,638円	9,944円	9,986円	9,264円

(注) 当作成期間（第43期～第48期）中における追加設定元本額は20,382,673円、同解約元本額は229,558,293円です。

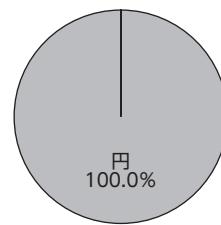
■資産別配分



■国別配分



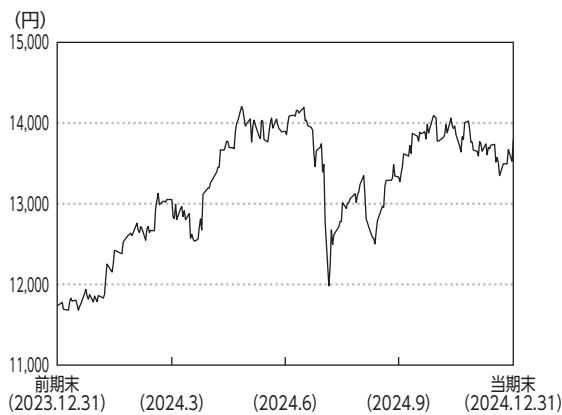
■通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2025年4月25日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC（円建て）クラスの概要

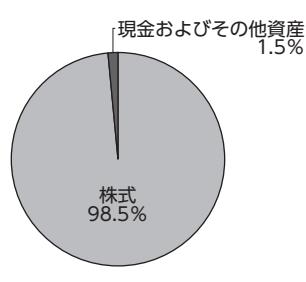
■税引前分配金再投資基準価額の推移



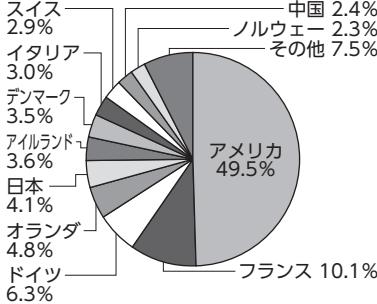
■上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
Republic Services Inc	米ドル	3.5%
Siemens Energy AG	ユーロ	3.1
Microsoft Corp	米ドル	3.1
Marsh & McLennan Cos Inc	米ドル	2.9
Itron Inc	米ドル	2.8
Air Liquide SA	ユーロ	2.5
Schneider Electric SE	ユーロ	2.5
Graphic Packaging Holding Co	米ドル	2.4
East Japan Railway Co	円	2.4
First Solar Inc	米ドル	2.3
組入銘柄数		58

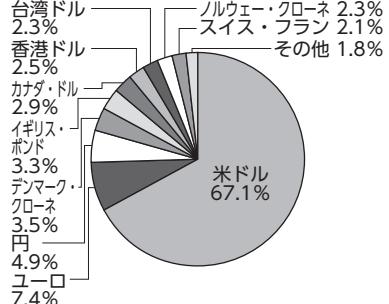
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 税引前分配金再投資基準価額の推移は、外国投資信託証券の直近の決算期のものです。

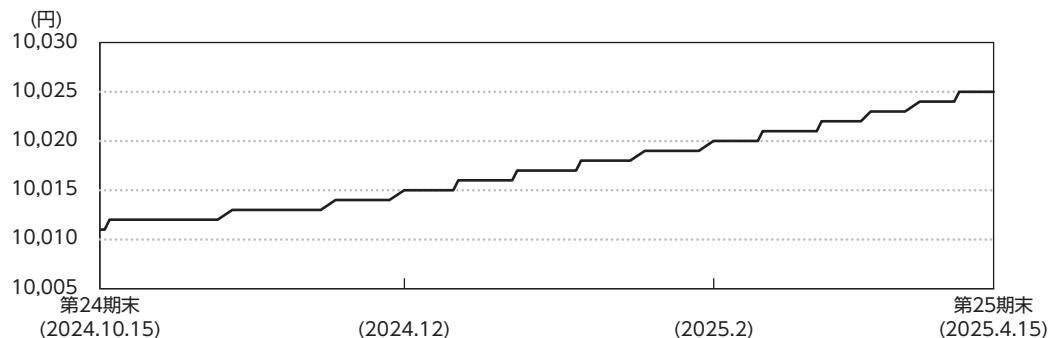
(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、外国投資信託証券決算日（2024年12月31日現在）のものであり、比率は外国投資信託証券の純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はDWSインベストメントGmbHの分類によるものです。

(注3) 1万口当たりの費用明細につきましては、入手が困難であるため記載していません。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の投資有価証券明細表をご参照下さい。

ニッセイマネーストックマザーファンドの概要

■基準価額の推移



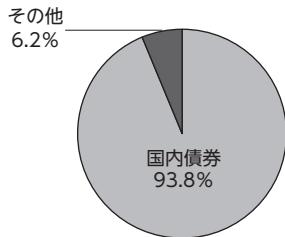
■上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
平成27年度第2回 兵庫県公募公債	円	20.0%
第146回 共同発行市場公募地方債	円	12.0
令和2年度第10回 北海道公募公債（5年）	円	12.0
第74回 政保地方公共団体金融機関債券	円	10.0
平成27年度第13回 京都府公募公債	円	9.9
第748回 東京都公募公債	円	6.0
第147回 共同発行市場公募地方債	円	6.0
平成27年度第3回 千葉県公募公債	円	6.0
平成27年度第1回 静岡市公募公債	円	6.0
令和2年度第3回 仙台市公募公債（5年）	円	6.0
組入銘柄数		10

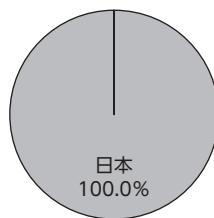
■1万口当たりの費用明細

当期（2024年10月16日～2025年4月15日）における費用はありません。

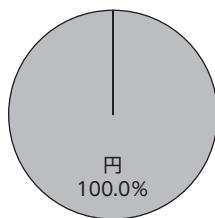
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



（注1） 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

（注2） 上位銘柄・資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2025年4月15日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

（注3） 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配額)			(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	参考指数	期中 騰落率	DWS・インベスト・ ESG・クライマート・ テックFC (円建て) クラス	債券 組入比率	純資産 総額
		税引前 分配金	期中 騰落率						
	円	円	%	円	%	%	%	%	百万円
19期(2022年11月25日)	10,370	0	5.6	10,670	11,693	1.5	96.8	0.0	3,790
20期(2022年12月26日)	9,562	0	△7.8	9,862	10,875	△7.0	96.4	0.0	3,459
21期(2023年1月25日)	10,018	0	4.8	10,318	11,313	4.0	97.7	0.0	3,610
22期(2023年2月27日)	10,156	0	1.4	10,456	11,598	2.5	96.7	0.0	3,608
23期(2023年3月27日)	9,537	0	△6.1	9,837	11,077	△4.5	96.6	0.0	3,330
24期(2023年4月25日)	10,439	0	9.5	10,739	11,935	7.7	97.2	0.0	3,573
25期(2023年5月25日)	10,504	100	1.6	10,904	12,215	2.4	99.7	0.0	3,417
26期(2023年6月26日)	10,875	100	4.5	11,375	13,140	7.6	96.6	0.0	3,334
27期(2023年7月25日)	11,055	200	3.5	11,755	13,486	2.6	99.6	0.0	3,211
28期(2023年8月25日)	10,584	100	△3.4	11,384	13,350	△1.0	97.7	0.0	3,015
29期(2023年9月25日)	10,335	0	△2.4	11,135	13,457	0.8	96.4	0.0	2,882
30期(2023年10月25日)	9,489	0	△8.2	10,289	13,240	△1.6	97.6	0.0	2,628
31期(2023年11月27日)	10,224	0	7.7	11,024	14,216	7.4	97.0	0.0	2,794
32期(2023年12月25日)	10,484	0	2.5	11,284	14,119	△0.7	96.8	0.0	2,793
33期(2024年1月25日)	10,435	0	△0.5	11,235	14,786	4.7	97.2	0.0	2,659
34期(2024年2月26日)	10,809	200	5.5	11,809	15,785	6.8	98.5	0.0	2,492
35期(2024年3月25日)	10,991	200	3.5	12,191	16,318	3.4	98.2	0.0	2,466
36期(2024年4月25日)	10,729	100	△1.5	12,029	16,273	△0.3	98.0	0.0	2,362
37期(2024年5月27日)	11,523	200	9.3	13,023	17,217	5.8	97.7	0.0	2,445
38期(2024年6月25日)	11,327	200	0.0	13,027	17,756	3.1	97.7	0.0	2,366
39期(2024年7月25日)	10,789	200	△3.0	12,689	17,085	△3.8	95.2	0.0	2,282
40期(2024年8月26日)	10,353	0	△4.0	12,253	16,784	△1.8	96.8	0.0	2,191
41期(2024年9月25日)	10,409	100	1.5	12,409	16,895	0.7	98.3	0.0	2,191
42期(2024年10月25日)	10,749	100	4.2	12,849	17,907	6.0	98.1	0.0	2,241
43期(2024年11月25日)	10,733	100	0.8	12,933	18,458	3.1	98.4	0.0	2,188
44期(2024年12月25日)	10,340	0	△3.7	12,540	18,813	1.9	96.6	0.0	2,074
45期(2025年1月27日)	10,638	100	3.8	12,938	18,993	1.0	97.6	0.0	2,083
46期(2025年2月25日)	9,944	0	△6.5	12,244	18,178	△4.3	96.4	0.0	1,912
47期(2025年3月25日)	9,986	0	0.4	12,286	17,981	△1.1	97.7	0.0	1,886
48期(2025年4月25日)	9,264	0	△7.2	11,564	16,395	△8.8	98.6	0.0	1,738

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配額）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 参考指数は設定時を10,000として指指数化しています。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

当成期中の基準価額と市況等の推移

年月日		基準価額	騰落率	参考指數	騰落率	DWS・インベスト・ ESG・クライメート・ テックFC (円建C) クラス	債券 組入比率
第43期	(期首) 2024年10月25日	円 10,749	% —	17,907	% —	98.1	% 0.0
	10月末	10,890	1.3	18,037	0.7	98.7	0.0
	(期末) 2024年11月25日	10,833	0.8	18,458	3.1	98.4	0.0
第44期	(期首) 2024年11月25日	10,733	% —	18,458	% —	98.4	0.0
	11月末	10,552	△1.7	18,146	△1.7	98.5	0.0
	(期末) 2024年12月25日	10,340	△3.7	18,813	1.9	96.6	0.0
第45期	(期首) 2024年12月25日	10,340	% —	18,813	% —	96.6	0.0
	12月末	10,469	1.2	18,737	△0.4	96.7	0.0
	(期末) 2025年1月27日	10,738	3.8	18,993	1.0	97.6	0.0
第46期	(期首) 2025年1月27日	10,638	% —	18,993	% —	97.6	0.0
	1月末	10,330	△2.9	18,796	△1.0	98.7	0.0
	(期末) 2025年2月25日	9,944	△6.5	18,178	△4.3	96.4	0.0
第47期	(期首) 2025年2月25日	9,944	% —	18,178	% —	96.4	0.0
	2月末	9,946	0.0	17,981	△1.1	98.5	0.0
	(期末) 2025年3月25日	9,986	0.4	17,981	△1.1	97.7	0.0
第48期	(期首) 2025年3月25日	9,986	% —	17,981	% —	97.7	0.0
	3月末	9,725	△2.6	17,479	△2.8	98.5	0.0
	(期末) 2025年4月25日	9,264	△7.2	16,395	△8.8	98.6	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

売買および取引の状況

2024年10月26日～2025年4月25日

(1) 投資信託証券

	第43期～第48期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC（円建て）クラス	千口 10	千円 141,600	千口 28	千円 390,900

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	第43期～第48期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーストックマザーファンド	千口 —	千円 —	千口 —	千円 —

(注) 当作成期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等

2024年10月26日～2025年4月25日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2025年4月25日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	第42期末		第48期末		
	口数	口数	評価額	比率	
DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC（円建て）クラス	千口 158	千口 140	千円 1,713,736	% 98.6	
合計	158	140	1,713,736	98.6	

(注1) 比率は、当作成期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	第42期末		第48期末	
	口数	千円 9	口数	千円 9
ニッセイマネーストックマザーファンド				千円 10

(注) 当作成期末におけるニッセイマネーストックマザーファンド全体の口数は49,953千口です。

投資信託財産の構成

2025年4月25日現在

項目	第48期末	
	評価額	比率
DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC（円建て）クラス	千円 1,713,736	% 98.4
ニッセイマネーストックマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	27,249	1.6
投資信託財産総額	1,740,995	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	(2024年11月25日)	(2024年12月25日)	(2025年1月27日)	(2025年2月25日)	(2025年3月25日)	(2025年4月25日) 現在
	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末	第48期末
(A) 資 産	2,228,470,631円	2,078,457,428円	2,133,057,055円	1,914,358,848円	1,892,594,836円	1,740,995,651円
コール・ローン等	76,328,936	74,175,065	84,916,381	69,802,383	49,802,779	27,249,034
DWS・インベスト・ ESG・クライメート・ テックFC(円建て) クラス(評価額)	2,152,131,696	2,004,272,362	2,033,930,670	1,844,546,459	1,842,782,048	1,713,736,605
ニッセイマネーストック マザーファンド(評価額)	9,999	10,001	10,004	10,006	10,009	10,012
未 収 入 金	—	—	14,200,000	—	—	—
(B) 負 債	40,454,078	3,740,713	49,347,298	1,886,703	5,600,267	2,815,699
未払収益分配金	20,385,091	—	19,587,636	—	—	—
未 払 解 約 金	17,820,575	1,667,195	27,512,403	—	3,896,925	1,052,306
未 払 信 託 報 酬	2,234,505	2,060,439	2,233,002	1,874,497	1,691,996	1,751,290
その他の未払費用	13,907	13,079	14,257	12,206	11,346	12,103
(C) 純資産総額(A - B)	2,188,016,553	2,074,716,715	2,083,709,757	1,912,472,145	1,886,994,569	1,738,179,952
元 本	2,038,509,182	2,006,592,809	1,958,763,635	1,923,150,640	1,889,594,940	1,876,195,896
次期繰越損益金	149,507,371	68,123,906	124,946,122	△ 10,678,495	△ 2,600,371	△ 138,015,944
(D) 受 益 権 総 口 数	2,038,509,182口	2,006,592,809口	1,958,763,635口	1,923,150,640口	1,889,594,940口	1,876,195,896口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,733円	10,340円	10,638円	9,944円	9,986円	9,264円

(注1) 当作成期首元本額 2,085,371,516円

当作成期中追加設定元本額 20,382,673円

当作成期中一部解約元本額 229,558,293円

(注2) 元本の欠損

当作成期末の純資産総額は元本額を下回っており、その差額は138,015,944円です。

損益の状況

	(第43期 (第44期 (第45期 2024年10月26日～2024年11月25日) 2024年11月26日～2024年12月25日) 2024年12月26日～2025年1月27日)	(第46期 (第47期 (第48期 2025年1月28日～2025年2月25日) 2025年2月26日～2025年3月25日) 2025年3月26日～2025年4月25日)				
項目	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
(A) 配 当 等 収 益	7,696円	7,055円	8,937円	15,063円	12,219円	11,004円
受 取 利 息	7,696	7,055	8,937	15,063	12,219	11,004
(B) 有価証券売買損益	19,445,319	△ 76,771,173	80,268,724	△131,462,477	9,618,819	△133,576,914
売 買 益	19,755,003	829,767	81,361,308	1,230,938	10,047,989	1,141,232
売 買 損 △	309,684	△ 77,600,940	△ 1,092,584	△132,693,415	△ 429,170	△134,718,146
(C) 信 託 報 酬 等 △	2,248,412	△ 2,073,518	△ 2,247,259	△ 1,886,703	△ 1,703,342	△ 1,763,393
(D) 当期損益金(A+B+C)	17,204,603	△ 78,837,636	78,030,402	△133,334,117	7,927,696	△135,329,303
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	92,485,782	87,495,603	8,449,484	65,585,981	△ 66,514,428	△ 58,134,644
(分配準備積立金) (126,448,973)	(103,921,253)	(101,418,824)	(80,241,735)	(78,780,513)	(78,182,527)
(繰 越 欠 損 金) (△	33,963,191)	(△ 16,425,650)	(△ 92,969,340)	(△ 14,655,754)	(△145,294,941)	(△136,317,171)
(F) 追加信託差損益金*	60,202,077	59,465,939	58,053,872	57,069,641	55,986,361	55,448,003
(配 当 等 相 当 額) (100,419,615)	(99,336,052)	(96,993,620)	(95,340,331)	(93,737,966)	(93,122,558)
(売買損益相当額) (△	40,217,538)	(△ 39,870,113)	(△ 38,939,748)	(△ 38,270,690)	(△ 37,751,605)	(△ 37,674,555)
(G) 合 計(D+E+F)	169,892,462	68,123,906	144,533,758	△ 10,678,495	△ 2,600,371	△138,015,944
(H) 収 益 分 配 金 △	20,385,091	-	△ 19,587,636	-	-	-
次期繰越損益金(G+H)	149,507,371	68,123,906	124,946,122	△ 10,678,495	△ 2,600,371	△138,015,944
追加信託差損益金	60,202,077	59,465,939	58,053,872	57,069,641	55,986,361	55,448,003
(配 当 等 相 当 額) (100,419,615)	(99,336,052)	(96,993,620)	(95,340,331)	(93,737,966)	(93,122,558)
(売買損益相当額) (△	40,217,538)	(△ 39,870,113)	(△ 38,939,748)	(△ 38,270,690)	(△ 37,751,605)	(△ 37,674,555)
分配準備積立金	106,070,679	103,921,253	81,839,900	80,241,735	78,790,518	78,182,527
繰 越 欠 損 金 △	16,765,385	△ 95,263,286	△ 14,947,650	△147,989,871	△137,377,250	△271,646,474

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
(a) 経費控除後の配当等収益	6,797円	0円	8,712円	0円	10,005円	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	100,419,615円	99,336,052円	96,993,620円	95,340,331円	93,737,966円	93,122,558円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	126,448,973円	103,921,253円	101,418,824円	80,241,735円	78,780,513円	78,182,527円
(e) 分配対象額(a + b + c + d)	226,875,385円	203,257,305円	198,421,156円	175,582,066円	172,528,484円	171,305,085円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	1,112.95円	1,012.95円	1,012.99円	912.99円	913.04円	913.04円
(g) 分配金	20,385,091円	0円	19,587,636円	0円	0円	0円
(h) 分配金(1万口当たり)	100円	0円	100円	0円	0円	0円

<課税上の取り扱いについて>

- 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- 受益者は普通分配金に対し課税されます。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

お知らせ

■運用報告書の電子交付について

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献につながるものととらえています。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供も進めていきます。

(2025年4月1日)

■約款変更

運用報告書に関する記載の変更を行うため関連条項に所要の変更を行いました。

(2025年4月1日)

■自社の実質保有比率

2025年3月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネーストックマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に99.9%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

当ファンドの概要

商 信	品 託	分 期	類 間	追加型投信／内外／株式 2021年4月26日～2031年4月25日
運 用 方 針				外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから気候変動に関連する事業を展開する企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。
主 要 運用対象	ニッセイ気候変動関連グローバル 株式ファンド（予想分配金提示型）			「DWS・インベスト・ESG・クライメート・テックFC（円建て） クラス」および「ニッセイマネーストックマザーファンド」
	DWS・インベスト・ESG・ クライメート・テックFC (円建て) クラス			日本を含む世界の株式
	ニッセイマネーストック マザーファンド			円建ての短期公社債および短期金融商品
運 用 方 法				以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。
分 配 方 針				毎月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、決算日の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。 分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益等の全額とします。 収益分配方針に基づき、原則として決算日の前営業日の基準価額（1万円当たり。支払い済みの分配金累計額は加算しません。）に応じて、以下の金額の分配をめざします。
			決算日の前営業日の基準価額	分配金額（1万円当たり、税引前）
			11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
			11,000円以上12,000円未満	200円
			12,000円以上13,000円未満	300円
			13,000円以上14,000円未満	400円
			14,000円以上	500円
				・分配対象額が少額の場合、あるいは決算日の前営業日から決算日までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。また、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。 ・基準価額の値上がりにより、該当する分配金テーブルが分配金の支払い準備のために用意していた資金を超える場合等には、テーブル通りの分配ができないことがあります。 ・基準価額に応じて、毎月の分配金額は変動します。基準価額があらかじめ決められた水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。 ・分配を行うことにより基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期決算以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。 ※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について、保証するものではありません。

DWS・インベスト・E S G・クライメート・テックF C (円建て) クラス

以下は、「DWS・インベスト・E S G・クライメート・テック」(ルクセンブルグ籍外国投資信託証券)の2024年12月31日現在の財務諸表のうち、同ファンドにかかる部分を、委託会社において抜粋し、その原文を翻訳したものです。同ファンドの財務諸表は、現地の諸法規に準拠して作成されており、独立監査人の監査を受けております。なお、「投資有価証券明細表」については、独立監査人の監査を受けておりません。

(1) 損益計算書 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(ユーロ)

収益

配当収入 (源泉徴収前)	8,720,445.38
流動資産運用益 (源泉徴収前)	513,215.46
外国源泉税控除	(849,704.08)
その他収益	1,842.00
収益 (損失) 合計	8,385,798.76

費用

借入金利息とマイナス預金利息	(83.42)
管理報酬	(8,657,820.48)
基本管理費	(8,615,516.40)
管理事務代行報酬	(42,304.08)
預託手数料	(33,140.69)
監査、法務、発行費用	(60,820.90)
加入税	(310,268.98)
その他費用	(178,758.19)
前払手数料	(55,863.39)
その他	(122,894.80)
費用合計	(9,240,892.66)

投資純利益 (損失)	(855,093.90)
-------------------	---------------------

売却取引

実現利益 (損失)	1,117,824.56
資産売却差益 (損失)	1,117,824.56

純利益 (損失)	262,730.66
-----------------	-------------------

(2) 投資有価証券明細表 (2024年12月31日)

DWS Invest ESG Climate Tech

Security name	Count/ units/ currency	Quantity/ principal amount	Purchases/ additions in the reporting period	Sales/ disposals	Currency	Market price	Total market value in EUR	% of net assets
Securities traded on an exchange								
Equities								
Stantec, Inc.	Count	94 190	127 830	CAD	111.88	7 026 268.59	1.09	
ALK-Abello A/S	Count	608 210	123 250	DKK	158.4	12 916 494.18	2.00	
NKT A/S	Count	139 812	4 460	DKK	512.5	9 606 700.18	1.48	
Air Liquide SA	Count	106 387	9 672	EUR	154.46	16 432 536.02	2.54	
Arcadis NV	Count	253 221	74 891	EUR	58	14 686 818.00	2.27	
AXA SA	Count	409 000	409 000	EUR	34.09	13 942 810.00	2.15	
Cie de Saint-Gobain SA	Count	105 200	20 640	EUR	85.56	9 000 912.00	1.39	
DSM-Firmenich AG	Count	132 762	11 430	EUR	96.62	12 827 464.44	1.98	
E.ON SE	Count	900 750	180 340	EUR	11.245	10 128 933.75	1.56	
ENEL SPA	Count	1 045 390	843 150	EUR	6.875	7 187 056.25	1.11	
Fugro NV	Count	747 584	200 230	EUR	16.39	12 252 901.76	1.89	
Knorr-Bremse AG	Count	111 70	46 470	EUR	70.35	7 820 809.50	1.21	
Nordex SE	Count	214 400	214 400	EUR	11.27	2 416 288.00	0.37	
Prismaan SpA	Count	203 020	22 780	EUR	61.52	12 489 790.40	1.93	
Schneider Electric SE	Count	67 099	21 790	EUR	238.45	15 999 756.55	2.47	
Siemens Energy AG	Count	402 372	446 782	EUR	50.38	20 271 501.36	3.13	
STMicroelectronics NV	Count	249 389	97 236	EUR	23.965	5 976 607.39	0.92	
Veolia Environnement SA	Count	367 773	346 150	EUR	26.85	9 874 705.05	1.53	
Severn Trent PLC	Count	211 420	211 420	GBP	24.95	6 364 335.45	0.98	
SSE PLC	Count	174 274	356 090	GBP	16.035	3 371 615.23	0.52	
BYD Co., Ltd H+	Count	392 000	60 500	HKD	268.2	13 014 737.60	2.01	
Flat Glass Group Co., Ltd	Count	2 033 000	961 000	HKD	11.08	2 788 481.16	0.43	
East Japan Railway Co.	Count	909 600	606 400	JPY	2 795	15 552 737.66	2.40	
Kurita Water Industries Ltd	Count	197 600	197 600	JPY	5 544	6 701 696.32	1.04	
Shimano, Inc.	Count	32 000	32 000	JPY	21 390	4 187 312.23	0.65	
Mowi ASA	Count	893 872	61 549	NOK	195.5	14 776 918.17	2.28	
Delta Electronics, Inc.	Count	829 000	829 000	TWD	434.5	10 571 330.00	1.63	
Voltronic Power Technology Corp.	Count	69 000	25 000	TWD	1875	3 796 957.02	0.59	
AECOM	Count	134 830	134 830	USD	106.13	13 751 866.38	2.12	
Agilent Technologies, Inc.	Count	60 340	60 340	USD	133.57	7 745 530.65	1.20	
Cadence Design Systems, Inc.	Count	38 710	53 420	USD	298.53	11 105 755.23	1.72	
Chart Industries, Inc.	Count	23 220	23 220	USD	188.24	2 200 597.55	0.65	
Darling Ingredients, Inc.	Count	469 325	240 775	USD	32.72	14 757 878.44	2.28	
First Solar, Inc.	Count	87 292	38 020	USD	178.3	14 957 628.14	2.31	
Graphic Packaging Holding Co.	Count	603 300	74 580	USD	27.07	15 694 899.03	2.42	
Itron, Inc.	Count	177 058	45 910	USD	107.7	18 326 021.96	2.83	
Marsh & McLennan Cos, Inc.	Count	94 150	13 550	USD	210.8	19 073 389.42	2.95	
Microsoft Corp.	Count	49 215	7 190	USD	422.67	19 991 061.64	3.09	
Monolithic Power Systems, Inc.	Count	10 170	10 170	USD	595.82	5 823 351.10	0.90	
NEXTracker, Inc. -A-	Count	268 023	221 280	USD	36.58	9 422 208.50	1.46	
Nomad Foods Ltd	Count	478 614	737 703	USD	16.46	7 570 981.31	1.17	
nVent Electric PLC	Count	170 610	170 610	USD	67.67	11 095 263.09	1.71	
NVIDIA Corp.	Count	85 640	211 060	USD	137.07	11 281 218.64	1.74	
NXP Semiconductors NV	Count	21 806	35 366	USD	207.81	4 354 912.12	0.67	
Quantum Services, Inc.	Count	48 290	23 110	USD	316.74	14 699 313.85	2.27	
Republic Services, Inc.	Count	116 580	92 910	USD	200.98	22 517 717.62	3.48	
Smurfit WestRock PLC	Count	230 956	342 216	USD	53.705	11 920 127.90	1.84	
Sprouts Farmers Market, Inc.	Count	75 737	100 173	USD	126	9 170 976.67	1.42	
Tetra Tech, Inc.	Count	80 610	80 610	USD	39.68	3 073 955.17	0.48	
TopBuild Corp.	Count	22 406	2 080	USD	304.76	6 562 347.76	1.01	
Trimble, Inc.	Count	200 500	52 358	USD	70.01	13 489 982.91	2.08	
Universal Display Corp.	Count	83 320	27 990	USD	146.44	11 725 892.99	1.81	
Verlato Corp.	Count	146 933	48 750	USD	101.51	14 333 924.70	2.21	
Verisk Analytics, Inc.	Count	41 321	5 400	USD	274.03	10 881 928.77	1.68	
Vertiv Holdings Co. -A-	Count	124 350	124 350	USD	113.64	13 580 443.71	2.10	
Weyerhaeuser Co. REIT	Count	230 325	53 860	USD	27.61	6 111 452.37	0.94	
Xylem, Inc.	Count	122 365	61 200	USD	115.6	13 594 148.00	2.10	
Zoetis, Inc.	Count	95 648	32 720	USD	161.63	14 857 126.16	2.30	
Total securities portfolio						637 655 830.04	98.49	

【受益者の皆様へ】 法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの当期運用状況をご報告申し上げます。

ニッセイマネーストック マザーファンド

運用報告書

第 25 期

(計算期間：2024年10月16日～2025年4月15日)

運用方針

- ① 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ② 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。
・外貨建資産への投資は行いません。



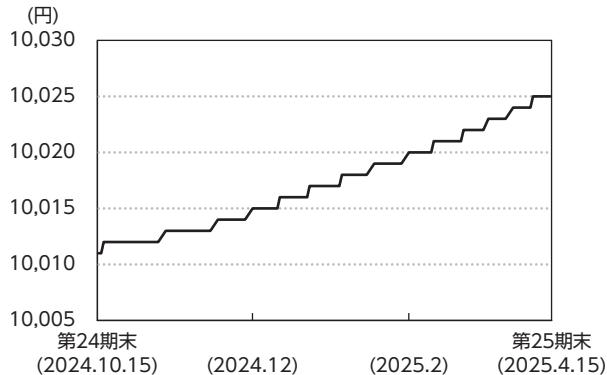
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2024年10月16日～2025年4月15日

基準価額等の推移



■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・前期末以降、利子等収益等が積み上がったこと

(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

お知らせ

■約款変更

運用報告書に関する記載の変更を行うため関連条項に所要の変更を行いました。

(2025年4月1日)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中 騰落率	債券 組入比率	純資産 総額			
				円	%	%	百万円
21期 (2023年 4月17日)	10,010	△0.0	92.1				50
22期 (2023年10月16日)	10,008	△0.0	94.1				50
23期 (2024年 4月15日)	10,008	0.0	74.1				50
24期 (2024年10月15日)	10,011	0.0	64.0				50
25期 (2025年 4月15日)	10,025	0.1	93.8				50

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率		
			円	%	%
(期首)2024年10月15日	10,011	—			64.0
10月末	10,012	0.0			52.0
11月末	10,013	0.0			84.0
12月末	10,016	0.0			95.9
2025年 1月末	10,018	0.1			95.9
2月末	10,021	0.1			89.9
3月末	10,024	0.1			93.8
(期末)2025年 4月15日	10,025	0.1			93.8

(注) 謄落率は期首比です。

ニッセイマネーストックマザーファンド

1万口当たりの費用明細

2024年10月16日～2025年4月15日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料	－円	－%	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	－	－	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合計	－	－	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,017円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2024年10月16日～2025年4月15日

公社債

国内	地方債証券	買付額	売付額
		千円	千円
	地方債証券	29,942	(12,000)
	特殊債券	5,006	(8,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2024年10月16日～2025年4月15日

公社債

銘柄	買付	銘柄	売付
	金額		金額
平成27年度第2回兵庫県公募公債	10,012	—	—
令和2年度第10回北海道公募公債(5年)	5,977	—	—
第74回政保地方公共団体金融機関債券	5,006	—	—
平成27年度第13回京都府公募公債	4,971	—	—
平成27年度第3回千葉県公募公債	3,002	—	—
平成27年度第1回静岡市公募公債	2,998	—	—
令和2年度第3回仙台市公募公債(5年)	2,981	—	—

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2025年4月15日現在

国内（邦貨建）公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
地方債証券	千円 42,000 (42,000)	千円 41,952 (41,952)	% 83.8 (83.8)	% —	% —	% —	% 83.8 (83.8)
特殊債券 (除く金融債券)	5,000 (5,000)	5,002 (5,002)	10.0 (10.0)	—	—	—	10.0 (10.0)
合計	47,000 (47,000)	46,955 (46,955)	93.8 (93.8)	—	—	—	93.8 (93.8)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ()内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

(国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
地方債証券	第748回東京都公募公債	0.4560	2025/9/19	3,000	3,001
	令和2年度第10回北海道公募公債(5年)	0.0200	2025/9/25	6,000	5,987
	平成27年度第13回京都府公募公債	0.1100	2026/3/17	5,000	4,972
	平成27年度第2回兵庫県公募公債	0.5010	2025/5/28	10,000	10,002
	平成27年度第3回千葉県公募公債	0.5240	2025/6/25	3,000	3,000
	第146回共同発行市場公募地方債	0.5530	2025/5/23	6,000	6,002
	第147回共同発行市場公募地方債	0.5480	2025/6/25	3,000	3,001
	平成27年度第1回静岡市公募公債	0.4760	2025/11/25	3,000	2,998
	令和2年度第3回仙台市公募公債(5年)	0.0100	2026/1/28	3,000	2,983
	小計	—	—	—	41,952
特殊債券 (除く金融債券)	第74回政保地方公共団体金融機関債券	0.5570	2025/7/15	5,000	5,002
	小計	—	—	—	5,002
	合計	—	—	—	46,955

投資信託財産の構成

2025年4月15日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	46,955	93.8
コール・ローン等、その他	3,129	6.2
投資信託財産総額	50,084	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイマネーストックマザーファンド

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年4月15日現在)		
項目	当期末	
(A)資産	50,084,224円	
コール・ローン等	3,089,776	
公社債(評価額)	46,955,092	
未収利息	38,912	
前払費用	444	
(B)負債	1,505	
未払解約金	1,505	
(C)純資産総額(A-B)	50,082,719	
元本	49,956,106	
次期繰越損益金	126,613	
(D)受益権総口数	49,956,106口	
1万口当たり基準価額(C/D)	10,025円	

(注1) 期首元本額	49,987,080円
期中追加設定元本額	9,979円
期中一部解約元本額	40,953円
(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。	
ニッセイマネーストックファンド (適格機関投資家限定)	
49,886,180円	
ニッセイ世界リートオープン (毎月決算型)	9,995円
ニッセイ世界リートオープン (年2回決算型)	9,995円
ニッセイ気候変動関連グローバル株式ファンド	
(予想分配金提示型)	9,987円
ニッセイ気候変動関連グローバル株式ファンド	
(資産成長型)	9,987円
ニッセイ/シュローダー好利回りCBファンド2022-12	
(為替ヘッジあり・限定追加型)	9,989円
ニッセイ/シュローダー好利回りCBファンド2024-03	
(為替ヘッジあり・限定追加型)	9,994円
ニッセイ/シュローダー好利回りCBファンド2025-03	
(為替ヘッジあり・限定追加型)	9,979円

損益の状況

当期 (2024年10月16日～2025年4月15日)		
項目	当期	
(A)配当等収益	105,517円	
受取利息	105,517	
(B)有価証券売買損益	△ 36,148	
売買益	14,491	
売買損	△ 50,639	
(C)当期損益金(A+B)	69,369	
(D)前期繰越損益金	57,243	
(E)追加信託差損益金	21	
(F)解約差損益金	△ 20	
(G)合計(C+D+E+F)	126,613	
次期繰越損益金(G)	126,613	

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (E)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (F)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

指数について

■ ファンドのベンチマーク等について

- ・ M S C I オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円ベース）

M S C I オール・カントリー・ワールド・インデックスは、 M S C I Inc. が公表しているインデックスです。同インデックスに関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は M S C I Inc. に帰属します。また、 M S C I Inc. は同インデックスの内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。